

第17回 高尾台町会 防災会議 議事録

日 時 : 2019年5月25日(土) 17時00～18時20分
会 場 : 高尾台町会会館
議 長 : 片岡 重人(高尾台町会 町会長)
司会・進行 : 永山 順一(IDPT つくるチーム)
議事録作成 : 西村 恵 (IDPT つくるチーム)
出 席 者 : 28名

議長(片岡町会長)挨拶

今年度より、町会として防災活動に取り組むと言う新しい形となり具体的な活動がスタートしました。参加される皆さまにはご多忙のことと思いますが、少しでも多くの活動に参加して頂き盛り上げて行こうと思いますので、よろしく願いいたします。

(1) 第5回 防災懇談会について 説明: IDPT 知るチーム 清水 義博

6月16日(日)に第5回 防災懇談会を開催いたします。今年は、『築こう!非常時に助け合える「ご近助」を!』を高尾台町会の防災活動のテーマにしています。日頃からコミュニケーションが進んでいなければ非常時に助け合えるのはかなり難しいことが明らかです。防災懇談会の主目的はコミュニケーションを図っていこうと言うことです。今年は、防災クッキングを体験することでコミュニケーション醸成を各丁目班ごとに図っていきます。まずは3丁目班から行います。在宅での防災クッキングを実際に調理体験し試食しながら懇談する企画となっています。

メニューの紹介、案内文の検討、当日の役割分担確認、会場設定・調理準備の確認を行った。

(2) BBQ大会 防災活動報告 報告: IDPT 伝えるチーム 山原 伸二

BQ大会時、本部席に町会所有の防災グッズの展示をしました。各班のシートと本部との距離間があり、展示用品に気がついていないような気配もありました。来年は、大勢の方に関心をもって見て頂けるよう対策を考えます。水消火器訓練も班長を対象に良好に実施されました。

(3) 2019年 防災アンケートについて 説明: IDPT知るチーム 清水 義博

昨年初めて防災アンケートを行い、危機管理の面で色々と考えてなければならぬことが班別明かになりました。今年も5月26日(日)役員・班長連絡会で実施報告を行い全世帯に配布を依頼します。2019年防災アンケート用紙を提示しますのでご確認下さい。

(4) 防災会議・懇談会連絡手段について 説明: IDPTつくるチーム 永山 順一

今年度から町会の防災組織は①非常時の避難所運営組織、②平常時の防災力強化活動組織の2本立で活動する体制になりました。現在のところ、いずれの組織も有効な連絡手段が確立されていない現状で、組織内でスムーズに連絡を取れるようにすることが今年の課題です。

災害発生時に、決められた連絡手段がないため情報が得られず、どのように行動したらよいか判断できない状況に陥ることが「自助」「公助」の大きな障害になります。平時に出来ないことは、非常時にはできないと思われるため、平常時の防災力強化活動の一環として行っている「防災会議」「防災懇談会」出欠確認の連絡を行うことを連絡手段確立の第1歩とし行い、その状況を勘案しながら種々の手段・方法を防災会議等で考察していきます。

次回の「防災会議」より、町会役員・班長は総務委員、IDPTは「つくるチーム」で出欠確認をお願いします。「防災懇談会」に関しては、担当丁目の総務委員にお願いし、IDPTは「つくるチーム」で出欠確認をお願いします。

今後の課題としては、町会で用意している緊急連絡網（eメール、ショートメッセージ、電話）が十分に利用可能なのか、IDPTで利用しているLINE等に連絡を1本にするのがよいのか等を検証していかなければなりません。来期からは、防災委員30名が加わることも念頭において有効な連絡手段確立しなければなりません。

(5) その他 説明：IDPTつくるチーム永山 順一

令和2年度からの防災委員30名が選出されます。町会則第9条2.（役員の任務）では「防災委員は、町会各種行事に参加し防災力強化活動を行う。」と定めていますが、具体的な活動は論じられていません。現実に今年度後半の役員選出時期になると町会長、副会長をはじめとした町会役員・班長は、防災委員選出依頼を行います。具体的な役割・活動が説明出来ない状況です。今後の防災委員の運営の在り方はどうするか「役員会」に上程する必要があります。私案として、町会役員であるので他の役員・委員と同様、防災委員30名より各丁目1名割振りで 防災部長1名・副部長2名を選出し、防災委員の取りまとめ 及び「防災会議」参加、「防災懇談会」の主務に加わって頂く（現在の主務は丁目副会長、会計、総務委員）等を検討する必要があります。

意見：防災会議は、PDCAのACTION（改善等）の場であるから、DO（実施）をお願いする防災委員の出席は必要ないのではないか。

意見：初年度より部長・副部長を決めると過重な役割をお願いする印象となり引き受け手がなくなるのではないか。

意見：最初の1年は防災委員全員が防災会議に出て頂き活動内容をみてもらい、それから防災部長・副部長の役割（防災会議の関わり・出席等）を検証し設置の必要があるか決めればよいのではないか。

次回、防災会議に具体的な防災委員の役割案を提出し検討することとなった。

以上

令和元年5月26日(日)

高尾台町会3丁目 班長さま

高尾台町会長(防災会議 議長) 片岡 重人
高尾台町会副会長
(防災力強化活動組織 3丁目班 班長) 元尾 秋子

高尾台町会防災力強化活動 令和元年事業 第5回「向こう3軒両隣防災懇談会」

「みんなで防災クッキング」 ご案内 並びに ご参加のお願い

班長の皆さまには、平素より町会活動に多大なるご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。
私たちの町、高尾台、1995年に始まった防災活動は、令和元年の今年、新たに生まれ変わった防災力強化活動組織の中で災害に強い町を目指して第一歩を踏み出します。目指すゴールの災害に強い町とは、「常日頃からのお付き合いを通してお互い助け合う」町です。

令和元年の防災力強化活動のテーマ『築こう!非常時に助け合える「互近助(ごきんじょ)を!』の下、皆さんと一緒に防災クッキングを学ぶ体験を通してお互いを知る機会を設けたいと思います。クッキングを楽しみ調理したお料理をつつきながら和やかに懇談し、お互い助け合う町っていいね、を体現しませんか? 是非、ご出席を賜りたくご案内申し上げます。

班長さまご自身がお欠席の場合は、代理の方にご出席を賜りたくご配慮をお願い致します。
尚、本案内下段の出欠確認に記入頂き6月5日(水)までに3丁目副会長宅ポストに投函頂きたくお願い申し上げます。

記

- (1) 実施日：令和元年6月16日(日)
防災クッキングを楽しもう：16時00分～17時20分
調理した料理で懇談しよう：17時30分～19時30分(お飲み物・おつまみも準備します)
 - (2) 対象者：町会長・3丁目 副会長・3丁目 民生委員
3丁目 総務委員・3丁目 会計・3丁目 班長・IDPT
 - (3) 次第：
防災クッキング：16時00分～17時20分(80分)
 - 1. 生きた自主防災高尾台(IDPT)「伝えるチーム」橋場健次氏 ご挨拶(3分)
 - 2. 出席者紹介 司会者 伝えるチーム(7分)
 - 3. 防災クッキング(調理実習)3Table(70分)
 - メニュー1. レトルトで作るカレーにゆうめん(主食)
 - メニュー2. オレンジパンケーキ(主食)
 - メニュー3. サバとキャベツの煮物(主菜)
 - メニュー4. ひじきとコーンのなめ茸和え(主菜)
- 懇談会：17時30分～19時15分(105分)
後片付け：19時15分～19時30分 参加者全員で後片付けをお願いします

.....出 欠 確 認 (切り取り).....

役職名： _____ (所属班) _____

出席者： _____ TEL： _____

高尾台町会長 (防災会議々長) 片岡重人

高尾台町会の自主防災活動は1995年に始まり、2016年には高尾台町会自主防会災組織の中に“自らの家族を守る知識やノウハウの蓄積”を図るスタッフ組織「生きた自主防災高尾台 (Independent Disaster Prevention Takaodai 略称: IDPT) を設け防災訓練や啓蒙活動を鋭意行って参りました。

その中で得られたのは「災害に強い町とは、常日頃からのお付き合いを通してお互い助け合う町である」という姿でした。私たちはそのような町を目指し2018年には従来の「自主防災会」を解体し町会組織に組み込み、新たな役員として各班に防災委員を選任頂くことを総会に提案し承認頂きました。

防災委員を選任頂く来年の新たなスタートに向け、基礎固めを行う重要な年となる令和元年(2019年)、防災力強化活動のテーマを『築こう！非常時に助け合える「互近助(ごきんじょ)」を！』とさせて頂きました。(「互近所」は造語です、詳しい説明を裏面に記載致しましたのでご一読頂けると幸いです)。

防災力強化活動の第一歩は、私たちのコミュニティーの現状を知ることです。昨年に引き続き私たちの活動をご理解頂きアンケート調査にご協力賜りたくお願い申し上げます。ご記入頂いた本用紙の下半分を切り取り**班長さん宅(下記)に6月15日までに**お届け頂きたくお願い申し上げます。

尚、本調査は「認可地縁団体 高尾台町会 個人情報保護規程」に基づき実施するものです。取得した個人情報は、調査目的である「高尾台町会の防災力強化」以外の目的では使用致しません。

○丁目 ○班 班長：高尾台太郎 高尾台○丁目○○ (Tel.○○○-○○○○)

班長さんへのお願い：提出頂いた用紙を6月23日(日)19時の「役員・班長連絡会」にご持参下さい。

.....切り取り線.....
記

お名前： _____

住所： _____

① 1年以上前からご家庭の防災対策で実施されていることは何ですか？

② では、この1年間でご家庭の防災対策で新たに実施されたことは何ですか？

③ ご家庭の地震対策で実行されている備えは何ですか？(実行されている全てに○印を付けて下さい)

- () 物の備え：日頃利用している食料品や生活必需品を少し多めに購入しておく「日常備蓄」
- () 物の備え：非常持ち出し袋(懐中電灯・携帯ラジオ・軍手・電池・ロウソク・・・ライター・水・食品・毛布ほか)
- () 室内の備え：家具類の転倒・落下・移動防止
- () 室内の備え：避難経路の確保(部屋の出入り口や廊下に家具類を置かない・引き出しの飛び出し注意)
- () 室外の備え：居住地域を知る(家のまわりの地形・地質/避難場所/避難経路/過去の災害と対策など)
- () 室外の備え：避難先を確認する(一時集合場所・避難場所・避難所 それぞれの違いを理解しておく)
- () コミュニケーションという備え：家族会議を開こう(災害時の家族の役割・離ればなれの際の安否確認など)
- () コミュニケーションという備え：防災ネットワーク(日頃の挨拶・防災訓練への参加・安否確認・情報収集)

④ 地震等甚大な災害が発生しご近所の助けが必要な時、助けを受け入れたいとお考えですか？

(受援者となる) はい 支援者が知り合いなら いいえ (3つの内、一つに○印を付けて下さい)

⑤ 逆にご近所に何かあった場合、率先して助ける側、(支援者となる) はい いいえ わからない

最後⑥の質問は裏面にあります。裏面の質問にもお答え下さい。

(参考)「互近所」説明資料

「互近助」(ごきんじょ)とは?

災害時に必要といわれる「三助」

「自助」・・・自分の身を自分の努力によって守ること

「共助」・・・みんなで助け合うこと

「公助」・・・市、県、国などの行政機関による救助、援助

どれか1つだけではなく、この3つが連携することによって、非常時の助けに大きくつながります。しかし被害状況によっては、すべてが連携するのは難しい場合もあります。

そこで「三助」に加えたいのが「近助」

「近助」とは、顔見知りであるご近所同士で助け合うという方法。

文字通り、自分の近くにいる人に助けを求め、自分も近くにいる人を助けに行くというように、災害時は自助と近助が極めて重要になります。

その「近助」が機能するような関係を構築したい。

「自然災害大国日本」で暮らしていくための知恵や心構えとして、災害時に助け合える近くの他人とのつながりを大切にしながら暮らしていく。

そういった想いを今年度のテーマに反映させて頂きました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・切 り 取 り 線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(質問の続き)

⑥ ご家族の年齢別人数を該当年齢枠にご記入下さい(家族構成の確認)

| 年齢 | 0-4 | 5-9 | 10-14 | 15-19 | 20-24 | 25-29 | 30-34 | 35-39 | 40-44 | 45-49 | 50-54 | 55-59 | 60-64 | 65-69 | 70-74 | 75-79 | 80-84 | 85-89 | 90-94 | 95-99 | 100- | |
|----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|--|
| 人数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

防災会議・懇談会 連絡手段について（案）

高尾台町会 防災組織 ⇒ ① 非常時の避難所運営組織
② 平常時の防災力強化活動組織

※ 町会役員全員 + 民生委員 がメンバー！

高尾台町会 平常時の防災力強化活動 ⇒ ① 防災会議
② 防災勉強会
③ 防災懇談会

● 防災会議・勉強会

参加者：町会長、副会長、総会計、会計、総務委員、（民生委員）

I D P T

出欠確認：町会役員 総務委員

I D P T つくるチーム ⇒ 統括 総務委員

連絡手段：町会役員 総務委員 一任

I D P T I D P T 【 L i n e 】

● 防災懇談会

参加者：町会長、総会計、I D P T

担当丁目 副会長、総会計、会計、総務委員、（民生委員）

出欠確認：町会役員 担当丁目総務委員

I D P T つくるチーム ⇒ 統括 担当丁目総務委員

連絡手段：町会役員 総務委員 一任

I D P T I D P T 【 L i n e 】

● 令和2年度 防災委員 登場

① 防災部長 1名 防災副部長 2名 ⇒ 各丁目から選出

② 防災会議、防災勉強会、防災懇談会での役割を検討

※ 次回役員会に提案

高尾台町会

2019 年度 班長の皆さま

生きた自主防災高尾台

Independent Disaster Prevention Takaodai

防災勉強会のご案内

高尾台町会の自主防災活動は 1995 年に始まり、2016 年には高尾台町会自主防会災組織の中に“自らの家族を守る知識やノウハウの蓄積”を図るスタッフ組織「生きた自主防災高尾台（Independent Disaster Prevention Takaodai 略称：IDPT）」を設け防災訓練や啓蒙活動を鋭意行って参りました。

その中で得られたのは「災害に強い町とは、常日頃からのお付き合いを通してお互い助け合う町である」という姿でした。私たちはそのような町を目指し 2018 年には従来の「自主防災会」を解体し町会組織が防災活動を行うべく、新たな役員として各班に防災委員を選任頂くことを平成 31 年度定例総会に提案し承認頂きました。その上で、町会での防災活動を、災害に備え防災力を強化する平常時の活動と避難所に避難を余儀なくされる非常時の活動に区分し、運営組織も「防災力強化活動組織」と「避難所運営組織」の二つに明確に区分する改訂を同時に行い承認頂きました。

また、昨年初めて高尾台町会全世帯対象に実施しご協力頂いた「防災アンケート」の結果は、1 丁目、2 丁目、3 丁目それぞれ危険箇所、世帯構成、防災意識が異なる等各丁目の状況には差があることが明確に示されました。この結果を踏まえ平常時の防災力強化活動は各丁目単位で実施することが望ましいと判断し、防災力強化活動（具体的には「防災勉強会」や「防災懇談会」等）を今年度から丁目単位に実施することに致しました。丁目別の状況が異なることもさる事ながら班単位でも構成世帯数、年齢構成、避難経路、過去の災害状況等が異なることから、丁目単位での防災活動の習熟度をみながら班単位での実施に移行することを目指して参ります。

防災委員を選任頂く来年の新たなスタートに向け基礎固めを行う重要な年となる令和元年（2019 年度）の防災力強化活動のテーマを『築こう！非常時に助け合える「互近助（ごきんじょ）」を！』とさせて頂き、平常時の防災力強化活動の一環として「防災勉強会」をテキストで実施することを決定しここに「年間スケジュール」のご案内をさせて頂きました。「

出席可能な班長さまは、3 日前までに 090-2123-0716 清水義博宛お電話でお申込み下さい。

- ◆令和元年（2019 年度）開催予定日（時間は 16 時～17 時、場所は高尾台町会会館 1 階）
初回ご出席時に今年使用するテキスト「東京防災」をお渡します。次回以降持参下さい。
- 第 6 回 4 月 21 日（日）テーマ：「2019 年度勉強会企画内容とスケジュール」実施済
- 第 7 回 5 月 25 日（土）テーマ：「在宅避難・物の備え・断水時のトイレの使い方」実施済
- 第 8 回 7 月 21 日（日）テーマ：（未定）
- 第 9 回 9 月 15 日（日）テーマ：（未定）
- 第 10 回 2020 年 1 月 19 日（日）テーマ：（未定）
- 第 11 回 2020 年 2 月 16 日（日）テーマ：（未定）

